



学校だより

令和4年度

2月



暦の上では立春を迎え、一步一步春が近づいています。陽当たりの良い所の梅の花は咲き始めましたが、まだまだ寒い日が続いています。学校ではコロナの感染とともにインフルエンザに罹患する児童もいます。学校での集団感染が心配され、子ども達には手洗いうがいの指導をしているところです。各ご家庭でもご協力よろしくお願いします。

2月4日には、本年度最後の授業参観があります。今回は延期をしていた人権発表会を行います。各学年において、子ども達が日頃の学びと練習の成果を発表します。現在のところ人数制限を(1家庭2名まで)行いますが、是非ご参加していただき子ども達の成長ぶりをご覧になってください。

東の小窓

1月下旬は、寒い日が続きましたが、子どもたちは元気いっぱいです。今年一番の寒気がきた先週に運動場の様子を見てみると、ドッジボール、なわとび、鬼ごっこ、鉄棒など大勢の子どもたちが遊んでいました。人数を数えると200人を超えていました。

外で遊ぶことは、夜よく眠れる、食事がおいしい、視力がよくなる(毎日2~3時間屋外で過ごすことと近視を防ぐことができるという学説があります)など、健康にとって重要な働きをします。また、健康面だけではなく、コミュニケーション能力や学習能力が伸びる可能性もあります。

ご家庭でも、外で遊ぶよう促したりゲームなどの時間を子どもと話し合ったりして、健康な生活を子どもたちが送れるよう、ご協力ください。



令和5年度の学校行事について

令和5年度の学校行事は、2月17(金)頃板野東小学校 HP でお知らせします。本来であれば、4月のPTA総会で審議をし決定した後にお知らせするべきですが、2月15日にあるPTA役員のご意見をいただいた上で、現段階の予定としてお知らせします。

校長室から

板野町では、「板野町学校人権教育研究会」という、就学前(保育園や幼稚園)から県立学校(板野高校・板野支援学校)までの先生方で組織をする会があります。この会は、1972年に発足され、保育園から県立学校までが、人権教育を中心とした実践を交流しています。現在では、人権教育に付け、生徒指導や特別支援教育についても交流をしているところです。

また、小学校を中心に見てみると、幼稚園とは、幼稚園児を小学校に招待をしたり、小学校の先生が幼稚園児の様子を見に行ったりしています。中学校とは、本校の児童が中学校を訪れ、様子を見に行ったり、中学の生徒に中学校生活について説明を聞き質問をしたりするを行っています。

さらに、幼稚園から小学校、小学校から中学校に校種が変わる時には、担任や学校代表が、数度にわたって、子どもたちの情報を交換し、子どもたちが少しでもスムーズに校種をかわることができるようにしています。

板野町は、各校種との連携を大切にしている町です。